

**新型コロナウイルス感染症対策の進捗に関する関係閣僚会議（第2回）  
議事概要**

**1 日時**

令和3年6月30日（水）17時02分～17時37分

**2 場所**

官邸2階大ホール

**3 出席者**

菅 義偉	内閣総理大臣
武田 良太	総務大臣
萩生田 光一	文部科学大臣
田村 憲久	厚生労働大臣
梶山 弘志	経済産業大臣
赤羽 一嘉	国土交通大臣
加藤 勝信	内閣官房長官
河野 太郎	国務大臣
西村 康稔	国務大臣
和泉 洋人	内閣総理大臣補佐官
藤井 健志	内閣官房副長官補
吉田 学	新型コロナウイルス感染症対策推進室長
福島 靖正	厚生労働省医務技監
小野 日子	内閣広報官
仲田 泰祐	東京大学大学院経済学研究科・経済学部 准教授
藤井 大輔	東京大学大学院経済学研究科 特任講師
服部 直樹	みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 調査部 経済調査チーム 上席主任エコノミスト
酒井 才介	みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 調査部 経済調査チーム 主任エコノミスト

**4 議事概要**

- 仲田泰祐氏から、資料1に基づき、コロナ感染と経済活動の見通しについて説明。
  
- 服部直樹氏から、資料2に基づき、ワクチン普及加速の経済効果と今後の課題について説明。

## ○質疑応答等

- 西村国務大臣から、資料3-1に基づき、他の民間の有識者等のシミュレーション結果概要について説明。

(西村国務大臣)

- ・ サービス消費の回復でコロナ前よりも10%くらい上回るということだが、サービス消費が一気に21年度に出してしまうと、来年22年にかけて厳しい状況になる恐れがあり、需要喚起の支援策をあまり早く行わずに、長く続いていくように行ったほうがいいのではないかという見方もあるが、お考えをお聞きしたい。

(酒井才介氏)

- ・ コロナ前の水準に戻る、それからペントアップ需要について、我々の想定では、30兆円ある貯蓄のうち約3兆円はペントアップ需要として出てくる。その発現時期については、数四半期にまたがって、例えばGW、夏休みといった形で複数期にまたがって顕在化するのではないかとみている。
- ・ 21年度中に3兆円のペントアップ需要のうち1/3程度が発現し、そして残りの約2兆円はおそらく22年度前半にかけて押し上げが効いてくるので、22年度の成長率が一気に落ちるということは避けられるのではないかと考えている。ただ、ご指摘のように、22年度後半にかけて一時的にペントアップ需要が剥落することによって、一時的にGDPがマイナスになることがあってもおかしくはないと思うが、ペントアップ需要がコロナ前の水準に戻っていく過程と理解していただければいいのかと思う。

(有識者ご退席)

- 河野国務大臣から、資料6に基づいて、ワクチンの接種実績等について説明。

## ○意見交換

(文部科学大臣)

- ・ 大学拠点接種については、現時点で文科省に対して424大学から相談が来ており、そのうち392大学が既に申請を行ったと承知している。引き続き、各大学等からの相談内容や地域の状況の精査を行っていく。
- ・ 6月25日17時をもって、職域接種の申請が休止されたが、大学等からは、引き続き文科省に相談が寄せられている。全体のワクチン供給量の中で、ワクチン接種を希望する一人でも多くの大学生等へワクチンが届けられるように、ワクチン提供については、ぜひ更なるご努力をお願いできればと思う。
- ・ オリンピック以外のスポーツで、外国人選手の入国待ちが続いているが、関係省庁と個別に相談させていただきたい。

(西村国務大臣)

- ・ ワクチンについては、より多くの配送を行ってほしいとの声もあるが、VRS 上のデータに基づいて、接種の進んだ自治体には優先して送るということを、改めて、河野大臣からも周知していただければありがたい。

- 西村国務大臣から、資料 3-2 に基づき、オリンピック・パラリンピック期間中における人流の増減等について説明。

(国土交通大臣)

- ・ TDM 全体の中で、国交省としては、首都高速の料金を 1,000 円値上げするということを実施していく。

(西村国務大臣)

- ・ 都心に入ってくる物流や、結果として生ずる人出をどうやって減らすか。何か更に対応できることがあれば、国交省でも考えていただけるとありがたい。コロナ室や国交省、オリパラ室等と連携を取らせていただきたい。

(国土交通大臣)

- ・ 地域の医師会からワクチンの確保の見通しが厳しいので、7 月に入って接種を一時中止するといった話も聞いているが、先々どう進むのか。

(河野国務大臣)

- ・ ファイザーのワクチンについては、6 月末までに 1 億回輸入して、大体 6 月末で 4 千 5 百万回程度打っているので、市中在庫が 5 千万回、7 月-9 月で 7 千万回来るので、1 億 2 千万回分、今後打っていくことになる。
- ・ 6 月の最盛期には 1 日 130 万回分を自治体に配布することができたが、今後、徐々に減って行って、おそらく夏には 85 万回分程度で配布していくことになるので、手持ちの在庫をうまく使いながらトップスピードをどこまで長く維持できるかという調整を、各自治体にお願いすることになる。
- ・ 近日中に、それぞれの自治体に 8 月末までにどれだけのワクチンの量が行くのかお知らせするので、それと手持ちの在庫を勘案して接種スピードを決めていただきたいと思っている。

### ○内閣総理大臣ご発言

- ・ 本日は、ワクチン接種の効果などについて議論した。
- ・ 有識者の方々からは、ワクチン接種は重症化を抑えるだけでなく、感染者数そのものを大きく減少させる効果があり、接種を加速することによって、経済活動の再開が大きく早まるとの指摘を頂いた。

- ・ ワクチンの普及は最大の経済対策であり、接種を加速することによって、60万人の雇用が増え、GDPを2%押し上げ、12兆円の経済効果があるとの試算が示された。
- ・ 我が国経済については、昨年度の税収がこれまでの最高額を上回る見込みであり、今後、経済運営にも万全を期していく。
- ・ 新規感染者数は、多くの地域で低い水準にとどまっているが、東京の新規感染者数は増加傾向にある。高い警戒感を持って対策を徹底するとともに、状況をよく見て、必要な対策を機動的に講じていく。
- ・ ワクチン接種は100万回の目標を大きく上回り、昨日(6/29)は1日で167万回の増加となった。1回接種した者は既に高齢者の約6割に達し、総人口の2割を超えている。
- ・ 企業や大学での接種、自治体の大規模接種について、予想以上に多くの御要望を頂いている。これらの新規受付については停止を継続するが、既に受け付けたものについては、精査の上対応することとし、自治体に対するワクチンについては、円滑な接種が続けられるように、今後の配分の見通しを速やかにお示ししていく。
- ・ 関係大臣においては、感染対策の徹底とワクチン接種の加速化に向け、しっかり連携して取り組んでいただくようお願いする。

以 上